

平成29年度 鶴見大学短期大学部免許状更新講習一覧

別紙

8月7日 (月)	講習番号	17-①	講習の名称	【選択】 これからの幼児の造形表現教育			
	担当講師	鮫島 良一 (本学講師)		受講料	8,000円 (教材費含)	定員	40名
	講習の概要	領域『絵画・製作』の時代から、『造形』そして『表現』の時代へ。幼稚園教育要領の変遷から、幼児の美術・造形教育観をめぐる変化と今日的課題を探る。ひとり一人の発想を引き出し豊かに育てる造形表現活動の支援のあり方とはどういうものか、具体的な方法や考え方について、講義と演習を通して学習する。					
9:30～ 16:30	講習番号	17-②	講習の名称	【選択】 発達障がいのあるこどもの保育			
	担当講師	河合 高鋭 (本学講師)		受講料	6,000円	定員	50名
	講習の概要	近年、「発達障がい」や「気になるこども」という言葉を耳にするようになった。保育中、何度言い聞かせてもわからない、大泣き怒ってしまう、そのような配慮が必要なこどもの保育についてワークショップを交えて考えていく。					
8月8日 (火)	講習番号	17-③	講習の名称	【選択】 幼児教育における昔話・童話の活用			
	担当講師	山田 吉郎 (本学教授)		受講料	6,000円	定員	50名
	講習の概要	幼稚園教育要領の領域「言葉」をふまえ、昔話・童話をどのように活用すべきかを考察する。昔話・童話（主として絵本化されたものを扱う）の基本的特質を解説したのち、幼児教育において重視されている昔話絵本を中心に、その特質と教育への活かし方を探究する。昔話は、小学校教育の国語教材としても扱われることが多く、そうした幼・小の繋がりについても論及する予定である。					
9:30～ 16:30	講習番号	17-④	講習の名称	【選択】 幼児の屋外環境との関わりと園庭における環境設定			
	担当講師	仙田 考 (本学講師)		受講料	6,000円	定員	50名
	講習の概要	幼稚園教育要領において、幼稚園教育は環境を通して行うものであることを基本とする、と述べられているように、幼児にとって環境は大変重要なものである。本講習では、幼児における屋外環境との関わりに着目し、特に、園庭での環境設定やあそび活動の意義、方策について、一部演習を交えた講義を通して検討を行う。					
8月9日 (水)	講習番号	17-⑤	講習の名称	【選択】 幼児の動きづくりから楽しいリズム遊びへ			
	担当講師	河田 聖良 (本学講師) 陸路 和佳 (本学准教授)		受講料	6,000円	定員	35名
	講習の概要	前半は、幼児期の身体と動作に焦点をあてていきます。身体と動きの発達についての基本的事項を確認し、動きのパリエーションに着目した活動の考え方への理解を深め、ワークショップ形式の実践を通して学び合います。 後半は、音楽表現と動きに焦点をあてていきます。リトミックの教育法をベースに、それを活用しながらリズム表現、音楽表現活動について考え、ピアノ奏法を交えて展開します。					
9:30～ 16:30	講習番号	17-⑥	講習の名称	【選択】 子ども理解と保育実践の検討			
	担当講師	片川 智子 (本学講師)		受講料	6,000円	定員	50名
	講習の概要	保育実践の基本となる「子ども理解」について深める。子どもの行為の意味理解、子どもの遊びの理解の2つの観点から子ども理解を考え、理解に基づく保育実践について検討する。また、そのための目的にあった記録の方法や、活用の仕方について学ぶ。講義だけでなく、受講生同士の意見や情報交換も取り入れていく。					